



# 城島中だより



～「仲間とともに、命を大切に、授業を大切に」が見える学校をめざして～

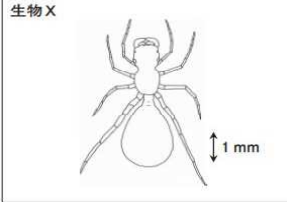
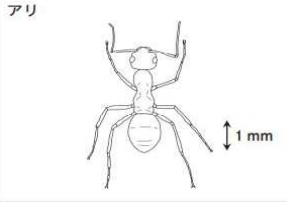
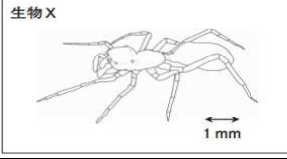
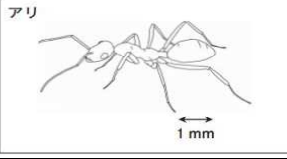
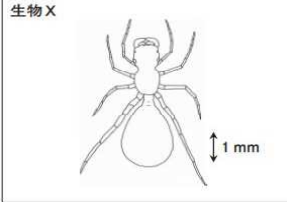
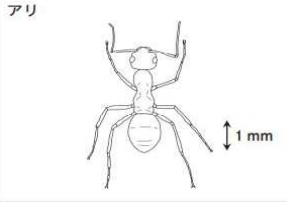
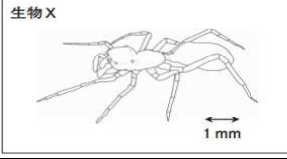
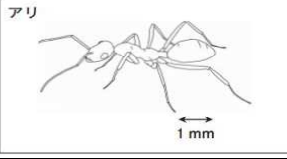
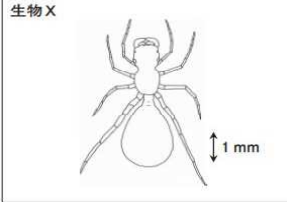
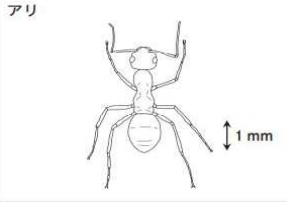
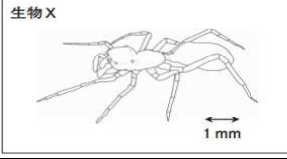
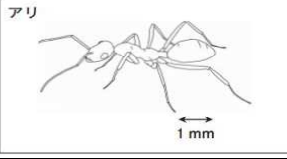
校長 津留崎 秀明

## 3年全国学力・学習状況調査結果について

城島中だより第6号では、1・2年の久留米市学力・生活実態調査の結果をお知らせしましたが、今回は3年を対象として4月19日(火)に行われた全国学力・学習状況調査についてお知らせいたします。(別紙には、市全体の結果を掲載しています。)この調査は、「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の2つの内容から構成されています。この中の「教科に関する調査」は、あくまでもペーパーテストにより測定できる学力の一側面を調査したものであり、この結果が本校の生徒の学力全てを表すものではないことにご留意ください。

### ◆教科に関する調査

<p>国</p>	<p><b>概要・課題・取組</b></p> <p>領域別に見ると、「話すこと・書くこと」は概ね定着が見られますが、「読むこと」「書くこと」に課題が見られ、「内容を読み取り理解すること」ができていませんでした。特に課題が見られる問題としては、「場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する」「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える」「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」が挙げられるため、系統的な読み取りの指導や根拠を基に書く活動の充実を図っていきます。</p>	<p>ウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きに「スマート農業の効果」を書き加えること。</p> <p>(解答例)</p> <p>農林水産省のホームページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。</p>
<p>語</p>	<p>【農林水産省のウェブページにある資料の一部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>スマート農業について</b></p> <p style="text-align: center;">「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」</p> <p>「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。</p> <p>➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0®の実現」</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿</p> <p style="text-align: center;"><b>スマート農業の効果</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 作業の自動化 ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に</li> <li>② 情報共有の簡易化 位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に</li> <li>③ データの活用 ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に</li> </ol> </div>	<p>ウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きに「スマート農業の効果」を書き加えること。</p> <p>(解答例)</p> <p>農林水産省のホームページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。</p>
<p>数</p>	<p><b>概要・課題・取組</b></p> <p>領域別に見ると、「関数」は概ね定着が見られますが、「数と式」「図形」に課題が見られ、「知識・技能」の習得が不十分であることがわかりました。特に課題が見られる問題としては、「自然数を素数の積で表すことができる」「結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる」が挙げられるため、具体例を挙げて調べる活動や、すでに成り立つことが示された事柄を基に、前提を変えても成り立つ場合を考え、話し合う活動の充実を図っていきます。</p> <p>今後のカギとなる問題</p> <p>康太さんは、<math>2 + 6 = 8</math>のように、同じ2つの偶数の和のほかにも、4の倍数になることがあることから、さらにくわしく調べてみました。</p> $2 + 6 = 8 = 4 \times 2$ $6 + 2 = 8 = 4 \times 2$ $10 + 14 = 24 = 4 \times 6$ $28 + 32 = 60 = 4 \times 15$ <p>そして次の様に予想しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>予想2 差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。</p> </div> <p>同じ2つの偶数の和や、差が4である2つの偶数の和のほか</p>	<p>にも、2つの偶数の和がいつでも4の倍数になることがあります。どのような2つの偶数のとき、その2つの偶数の和が4の倍数になりますか。予想2のように「～は、…になる。」という形で書きなさい。</p> <p>(解答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差が8である2つの偶数の和は、4の倍数になる。</li> <li>・2つの数がどちらも4の倍数である2つの偶数の和は、4の倍数になる。</li> </ul>

理 科	概要・課題・取組	領域別に見ると、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」すべての領域において概ね定着が見られますが、問題別に見ると課題が見られる問題もありました。 特に課題が見られる問題としては、「玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する」「生物 X が昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する」が挙げられるため、課題を解決するために適切な探究の方法について話し合う活動の充実を図っていきます。								
	今後のカギとなる問題	<table border="1"> <tr> <td>上</td> <td>  </td> <td>アリ</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>  </td> <td>アリ</td> <td>  </td> </tr> </table>	上		アリ		横		アリ	
上		アリ								
横		アリ								

◆生活習慣や学習環境等に関する調査から見てきた本校の良さと課題

本校の良さ	① 1, 2年生のときからPCなどのICT機器を用いた授業が多い。 ② 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる生徒が多い。 ③ 普段（月曜日から金曜日）、極めて長時間のゲーム、スマートフォンでSNSや動画視聴をする生徒が比較的少ない。
本校の課題	① 「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒が比較的少ない。 ② 「自分にはよいところがある」と答える生徒が比較的少ない。 ③ 「1, 2年生に受けた授業で、自分の考えを発表する機会が、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答える生徒が少ない。 ④ 「携帯電話スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」の質問の中で、約束がないと答える生徒が多い。

現在、城島中学校では

「ICTを効果的に活用した授業づくり」(①)、教育相談の充実(②)に努めています。また、3年生は、昨年2年生での調査と比べて、ゲーム・SNS・動画等の使用時間が減っています。(③)これらの時間は学力との相関関係「使用時間が少ないほど、学力は高い」が顕著であり、進路獲得に向けて今後の更なる学力向上のためにも学校と家庭との連携が大切です。

本年度、職場体験学習に代わり城島くるめ学として地元城島に関わりを持たれている経営者の方の講話(①)、生徒の生活アンケートに「先生は、自分の良さを認めてくれている」の設定(②)、朝の会「1分間スピーチ」をはじめとした論理的思考を伴う発信の場(③)を設定していますが、今後更なる充実を進めていきます。

ご家庭へのお願い

この数年、全国・福岡県において中学生のSNSやゲームのチャット機能等での出会いに起因した性被害やトラブル、治療を要するネットやゲームの依存の事例が数多くあげられており、本校においてもLine等のトラブルについて生徒や保護者からの相談や心配する地域の方の声が学校へ寄せられています。お子様を有害なコンテンツや健康等被害から守ることは保護者の皆様にしかなできません。「他人事ではなく、自分事」として家庭でのルールづくりをお願いいたします。(④)

英語科の新しい先生の紹介です。

小島美奈子先生 担当2年1・2・3組等  
 皆さんに一言「また素直な城島中の皆さんと一緒に時間を過ごすことができることを嬉しく思います。どうぞよろしく願いいたします。」

